

えんだよい



可愛保育園

令和6年 2月号



2日(金)	豆まき	
8日(木)	クッキング(さくら組)	
9日(金)	たいそう教室(さくら組)	
14日(水)	お別れ遠足(さくら組)	
17日(土)	保育参観、保護者研修会	
20日(火)	リズムジャンプ(さくら組)	
26日(月)	避難訓練	
29日(木)	わくわく教室(さくら組・きく組)	

誕生日会

*保育参観、保護者研修会については、1月11日にキッズリーでお知らせしています。🔔のマークのところです。詳しいことはそちらをご覧ください。

*さくら組「お別れ遠足」については後日お知らせします。



大寒が過ぎたとはいえ、まだまだ厳しい寒さが続きそうです。ぽかぽか陽気の春が待ち遠しいですね。

今年は4年に1度の「うるう年」1年の日数が1日多い366日となり、2月は29日まであります。今年はいつもより一日多く過ごせる特別な年です。

進級や就学に向けてのびやかに成長していく子どもたちとともに、日々を大切に過ごしていきたいです。

子どもと一緒にクッキング! 「チョコクランチ」

材料(10個分)

・コーンフレーク	50g
・ミルクチョコ	80g
・アルミカップ	10個
・熱湯	湯煎用



作り方

1. チョコを細かく刻む。
2. コーンフレークをジッパーバックなどに入れて綿棒などで細かく砕く(粉々にならないように注意!!)
3. 刻んだチョコを湯煎で溶かす。
4. 溶かしたチョコの中に砕いたコーンフレークを入れて全体にチョコが行き渡るようにしっかり混ぜる。
5. スプーンでアルミカップなどに入れる
6. 冷蔵庫に入れるとすぐに固まります。固まった後は常温でOK!



『今、うちのクラスは。。。』



各クラスの担任へインタビュー！！

今月は《手作りおやつベスト3》です。

「こんなおやつが食べたい」リクエストも！

アレルギー対応のおやつも準備しています😊



★さくら組★

- 1：ホットドック
- 2：かきごおり
- 3：フライドポテト



★きく組★

- 1：かきごおり
- 2：フライドポテト
- 3：フレンチトースト・ジャムサンド・ホットドック



★ばら組★

- 1：ジャムサンド
- 2：フライドポテト
- 3：フルーツポンチ



★たんぽぽ組★

- 1：フライドポテト
- 2：お餅系おやつ
- 3：フルーチェ



★もも組★

- 1：フライドポテト
- 2：フルーチェ
- 3：ぶどうゼリー



★すみれ組★

- 1：マカロニあべかわ
- 2：黒糖もち
- 3：フルーチェ



2月のえほん



だるまちゃん、うさぎちゃんたちといっしょにいろいろな雪だるまや、雪うさぎを作ったり、うさぎの手袋人形を作ったりして遊びます。ナプキンをうさぎの形にする折り方、リンゴをうさぎやだるまの形にする切り方など、遊びがいっぱいつまった絵本です。

目標に向けた取り組み

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。（保育所保育指針）

子どもたちは、生活や遊びのなかで「文字・数」に出会います。文字や数に関心をもつ時期には個人差があります。文字・数を身に付けていくためには、子どもたち自身が文字や数を「使いたくなる」場面を作り、「楽しい」「便利」「もっと知りたい」と思うことの積み重ねが大切でしょう。

保育所保育指針「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」のひとつに「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」という項目があります。

大人が教え込むのではなく、お手紙ごっこ、かるた遊び、しりとり、なぞなぞ、お店屋さんごっこ・・・など、生活や遊びのなかで「文字・数」の役割に気づき、楽しみながら文字や数に親しんでいきたいと思います。

さくら組ではオリジナルかるたを作って遊びました。好きなひらがなを選んで、文章と絵を考え、読み札と絵を描きました。



研修報告

AED の使用方法と救命処置について、日本ライフラインの方に来ていただき職員研修を行いました。その中の一つ、例えば食事中に食べ物が気道に詰まるなどで、息ができなくなったときの対応をご紹介します。

気道異物除去の手順（反応・意識がある場合）

①背中をたたく（背部叩打法）

救助者の片腕に、乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児のあごを支えつつ、頭を体よりも低く保ちます。もう一方の手のひらの基部で、背中の中を数回強く叩きます。



②胸部を突き上げる（胸部突き上げ法）

乳児を仰向けにし、頭を下げ、後頭部と首を（頸部）を支え、指2本で胸の真ん中（胸骨下半分）を数回スよく圧迫します

※①と②を数回ずつ交互に行います



反応がなくなった場合は、子どもの心停止に対する心肺蘇生の手順を開始します。

“反応（意識）がない”ときは、すぐに救急車を要請する。さらに“呼吸がない”場合は、胸骨圧迫・人工呼吸・AEDによる電気ショックを行います。